



写真提供：NPO法人 Earth Communication

くびしょう
1 久々生海岸の定点写真

1960年代撮影

1970年代撮影

2012年撮影



約50年の間で、磯から砂浜へ変化

2 知事広聴

○令和2年度 第3回 知事広聴「平太さんと語ろう」

日時:令和3年2月3日

場所:御前崎市民文化会館ホール

形式:オンラインによる動画配信

発言者:川口^{みちや}真矢 氏 ほか3名



○川口^{みちや}真矢氏の紹介

- ・御前崎市出身
- ・NPO法人 Earth Communication 代表
- ・市内外で自然体験活動や自然環境保全活動に取り組む。また、市の生涯学習事業についても協力している。
- ・活動としては、6年前から任意団体として活動をスタートし、平成31年4月に同団体を設立。

富国有徳の理想郷—しずおか

ふじのくに (西部地域局)



2

3 久々生^{くびしょう}海岸 ~その①~

御前崎市にUターン後、子どもの頃に磯遊びしていた久々生海岸をのぞいてみると…

ゴミの山と磯から砂浜に変貌していた。



さらに、そこには全国的に希少な水生植物の「コアマモ」が生息。

まず、ゴミ拾いから開始。

令和2年の1年間の実績

(活動回数:50回、参加人数:344人

ゴミの総重量:2,410kg)



富国有徳の理想郷—しずおか

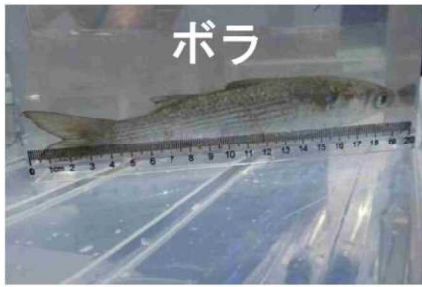
ふじのくに (西部地域局)



3

くびしょう
3 久々生海岸 ～その②～

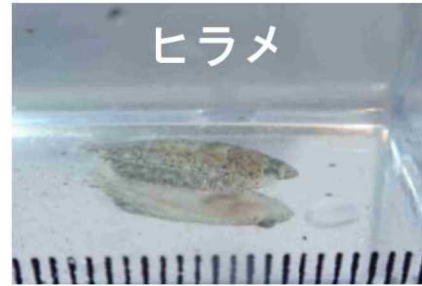
魚類



ボラ



タツノオトシゴの仲間



ヒラメ



コチ

⇒計24種類

甲殻類



テッポウエビ



エビジャコ

⇒計10種類

合計70種類の生物を発見

富国有徳の理想郷—しずおか

ふじのくに (西部地域局)



くびしょう
3 久々生海岸 ～その③～現地視察会

○久々生海岸 現地視察会

日時:令和3年3月18日

場所:久々生海岸、御前崎港管理事務所

参加者:MaOI-PARC

水産・海洋技術研究所

御前崎港管理事務所

御前崎市



3月19日
静岡新聞 (朝刊)

久々生海岸の環境視察

御前崎と
牧之原市境

県西部地域局は18日視察を行った。同局や日御前市と牧之原市、県水産・海洋技術研究所にまたがる久々生所の職員らが参加し、(くびしょう) 海岸の豊富な海の生態系に

理解を深めた。同海岸の養殖や水生生物の観察に取り組み NPO法人表の川口真矢さん(36)が、2月の知事広聴会活動を紹介したことを受けて実施した。参加者は干潮時刻に合わせて現地を訪れ、整日わたるり広がる県の準絶滅危惧種のコママモを、川口さんと同研究所にごとでタツノオトシゴに由来、かつて同海岸は岩場だったが、防波堤の建設で周辺環境の悪化に伴って砂が堆積し、コママモが自生しやすくなったとみる。同局の杉本達馬局長は「環境教育の現場に立ち回るのは難しい」と話した。



御前崎市と牧之原市にまたがる久々生海岸を視察する参加者。足元に広がるのは県の準絶滅危惧種のコアマモ

※静岡新聞社に掲載確認済み 5



ふじのくに (西部地域局)

4 久々生海岸における今年度の取組

取組1

第1回BLUE SHIP全国サミットでの発表(令和3年4月20日開催)
 全国のごみ拾いや環境に関するイベントの情報が集まるポータルサイト「BLUE SHIP」で行われた**全国サミット**にて、久々生海岸の取組を紹介。

ごみ拾いや環境活動を簡単に探せるサイト



取組2

環境学習イベントの開催(令和3年6月26日開催)
 久々生海岸で環境学習イベント「アース・キッズ ～アマモ場の生きもの調査隊～」を実施する。当日は、生物観察、ビーチクリーン、ヒラメの稚魚放流を実施。また、津波避難についても説明。



取組3

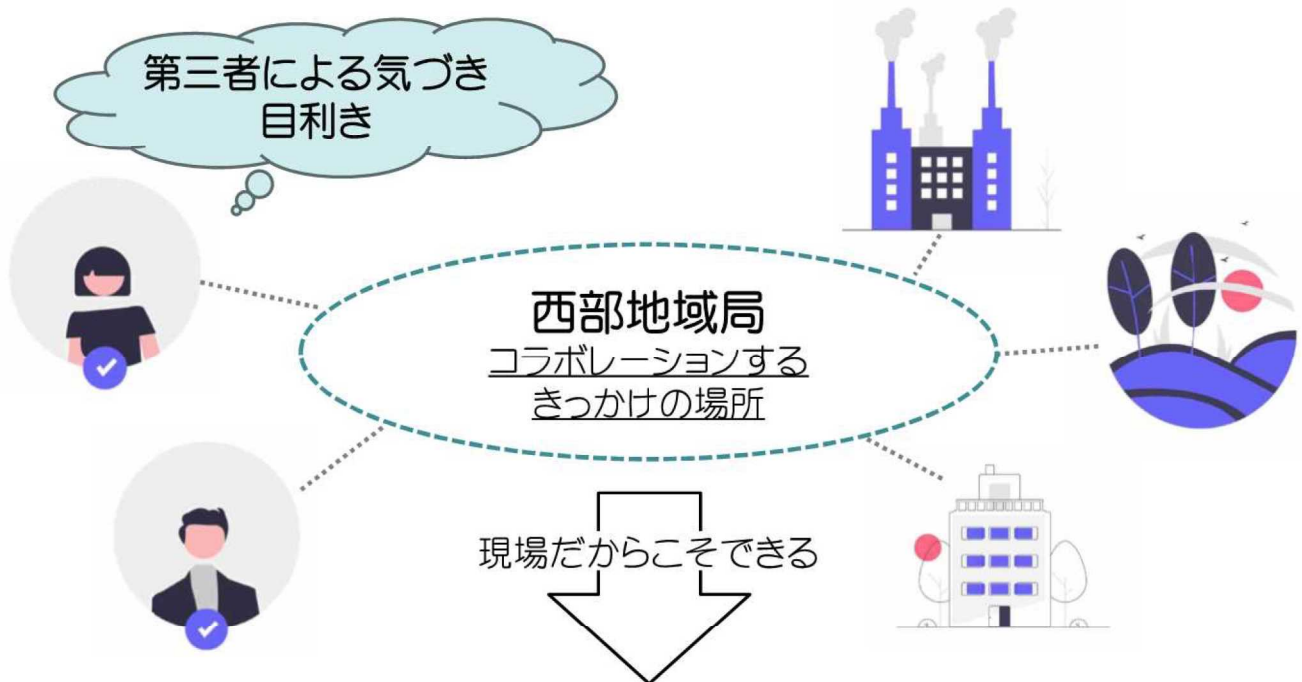
ビーチクリーン活動に併せた生き物観察会
 今年度も継続して清掃活動と生き物観察調査を実施。年間を通して、月3回のペースで実施予定。



富国有徳の理想郷—しずおか

ふじのくに(西部地域局)

このような事例を参考に 地域局としての今後の取組



コロナ禍であっても現場に寄り添い、地域が元気になっていくような
「きっかけ」づくりを進めていく。

富国有徳の理想郷—しずおか

ふじのくに(西部地域局)